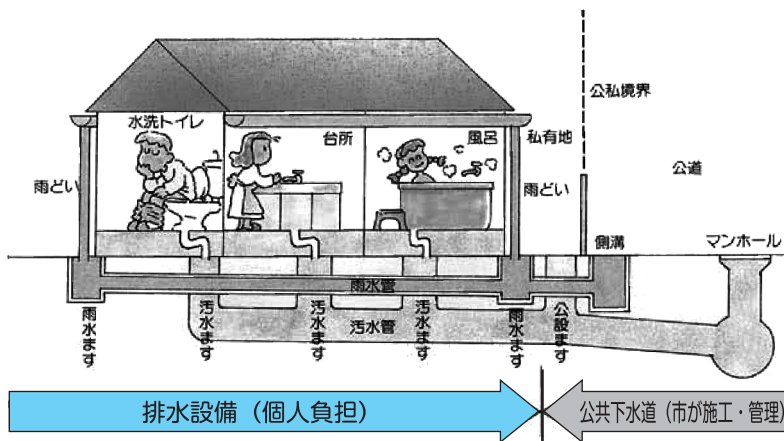


排水設備の仕組み (分流式)



下水を運ぶ方式には、汚水と雨水を1本の管で運ぶ合流式と、汚水と雨水を別々の管で運ぶ分流式があり、我孫子市では分流式を採用しています。



下水道は、家庭から出る汚水をそのまま流せる便利な施設ですが、何でも流していいというわけではありません。下水道施設は多くの方が使用する公共性の高い施設ですから、ルールを守って正しく使用しましょう。

下水道は正しく使しましょう

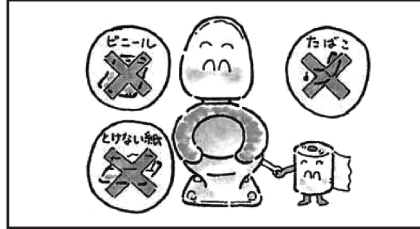
台所から生ごみや油を流さない

台所から出る生ごみや、てんぷら油などの廃油は、排水管の詰まりの原因になりますので、そのまま流さず適切な処理をしましょう。



水洗トイレには溶ける紙を

水洗トイレには必ず水に溶けるトイレットペーパーを使用し、水に溶けないティッシュペーパーやビニールなどを流さないようにしましょう。



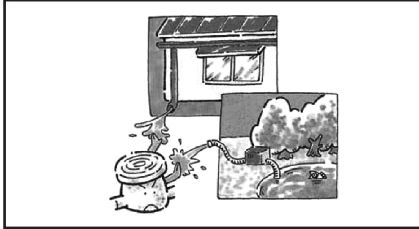
ガソリンやシンナーなどを流さない

ガソリンやシンナーなど揮発性の高い危険物やその他の化学薬品は排水管を損傷する恐れがあり、爆発を起こす危険性もありますので、絶対に流さないようにしましょう。



雨水は流せません

我孫子市の下水道は分流式です。雨水は雨水ますを通して別に流しますので、下水道の汚水ますに流さないようにしましょう。



市では公共下水道工事を実施しています。今年度は、我孫子三丁目・湖北駅北口・中峠台地区のそれぞれ一部で、下水道工事を行う予定で、下水道工事の切廻し先立って、ガス・水道管の切廻し事も行います。工事場所周辺の皆さまには、日常生活にご不便、ご迷惑をおかけすることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

【お問合せ先】下水道課 工務担当

排水設備は、計画的に下水道を整備しています。すでに整備が終わった区域にお住まいの方は、排水設備の早期設置にご協力ください。処理区域内でし尿浄化槽を使用されている方は一年位を目安に、くみとり式のトイレを使用されている方は三年以内に、水洗トイレに改造（切替）工事を行い、公共下水道へ接続してください。

利子補給制度が利用できます。市では、一日も早く下水道を使っていただけ、排水設備工事を行う方に、資金の融資あつせん及び利子補給を行っています。

【お問合せ先】下水道課 維持担当

我孫子市における下水道普及率 (各年度末現在)

項目	住民基本台帳人口 (人)	処理人口 ※1 (人)	水洗化人口 ※2 (人)	人口普及率 ※3 (%)	水洗化率 ※4 (%)
17年度	131,838	101,057	97,062	76.7	96.0
18年度	133,541	103,995	100,078	77.9	96.2
19年度	134,552	105,236	101,848	78.2	96.8
20年度	134,982	106,367	102,717	78.8	96.6
21年度	134,986	108,334	104,981	80.3	96.9

- ※1 処理人口：下水道が整備され、供用開始された区域内の人口
- ※2 水洗化人口：公共下水道に接続している人口
- ※3 人口普及率(%) = 処理人口 ÷ 住民基本台帳人口 × 100
- ※4 水洗化率(%) = 水洗化人口 ÷ 処理人口 × 100

豆知識 「下水道の日」はなぜ9月10日なの?

下水道には、お風呂や台所、トイレなど家庭等から出る汚水を下水道管を通して下水処理場に集め、浄化し自然に帰す役割のほかに、雨水をすみやかに流し、街が水びたしにならないようにする役割もあります。1年を通して、短い時間に多くの雨が降るのは、8月から10月の台風シーズンです。中でも、9月10日は立春から数えて220日目にあたり、昔は二百二十日（にひゃくはつか）と呼ばれ、大きな台風が来る日とされていました。大雨に備える特別な日のひとつだったのです。この台風シーズン中の特別な日が下水道の雨水を流すという役割となじみがあるということで、9月10日が「下水道の日」と決められたのです。

井戸水を使用する場合の下水道使用料

～ ご家族の人数に応じて使用料がきまります ～
一般のご家庭で井戸水をご使用の場合は、ご家族の人数に応じた認定水量で下水道使用料を算定します。（下表参照）

表 家族の人数による認定水量 (井戸のみ)

家族人数	認定水量	1ヶ月分使用料 (税込込み)
1人	6立方メートル	945円
2人	12立方メートル	1,171円
3人	18立方メートル	1,852円
4人	24立方メートル	2,557円
5人	30立方メートル	3,276円
6人	36立方メートル	4,101円

ただし、上水道と井戸（家事用）を併用の場合、水道使用水量に表の認定水量の半分を加えた量が使用水量となります。

算定例 4人家族で上水道と井戸併用の場合の使用水量
水道の使用水量が15立方メートル (m) の場合
15m³ + (24m³ × 1/2) = 27m³
∴ 使用水量は27立方メートルになります

※井戸水を使用しているご家庭で、転入・転出・出産・死亡等により人数が変更になる場合は、下水道課に「公共下水道使用開始等届」をご提出ください。

【お問合せ先】下水道課 料金担当

2010年 (平成22年) 9.1

広報げすいどう

NO.26

発行 建設部 下水道課
我孫子市役所 千270-1192 我孫子市我孫子1858番地
TEL 04 (7185) 1111

市のホームページアドレス <http://www.city.abiko.chiba.jp/> 公共下水道の計画・工事・維持管理、水洗化の普及・使用料・経営状況等の情報は、市のホームページでもご覧いただけます



下水道は、河川や湖沼の水質保全に重要な役割を果たしています。(写真：高野山桃山公園から手賀沼を望む)

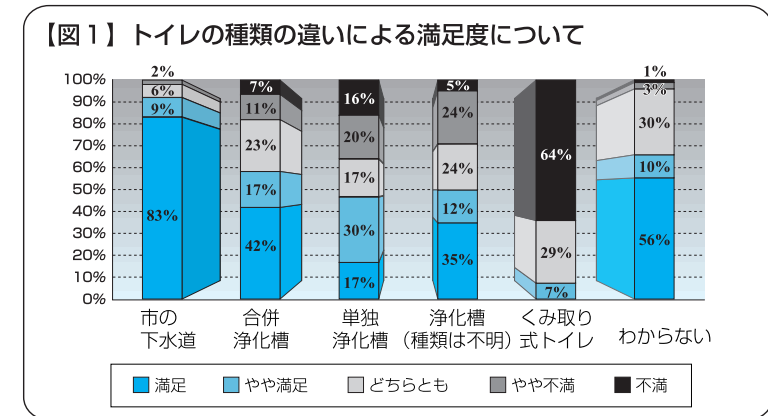
9月10日は第50回「下水道の日」です。 下水道水から聞こえる「ありがとう」

下水道は、トイレの水洗化や汚水雑排水の排除といった生活環境の改善のほか、川や海、湖沼の水質浄化にとつてなくてはならないものです。市内の家庭や工場などから流された汚水は、下水道管を流れて手賀沼終末処理場で処理され、きれいな水となって利根川へ放流されます。このような下水道の役割について理解と関心を深めていただくため、毎年9月10日を「下水道の日」とし、下水道の普及を促進しています。

下水道推進標語 (国土交通大臣賞)

アンケート調査の目的は?

これまで、下水道事業は着実な整備を実施し、手賀沼などの水質汚濁の改善に役立ってきました。今後は限られた財源の中で、汚水整備の普及促進のほか、近年の集中豪雨に対する浸水対策の推進など、市民の皆さんへの必要があります。そのため、市民の皆さんの下水道事業に対するニーズ把握を目的として、市内にお住まいの方から、無作為で頂上、下水道事業に対する満足度や要望に関する市民アンケート調査を実施しました。



※合併浄化槽：トイレの他、台所、風呂などからの生活雑排水も処理
※単独浄化槽：トイレからの汚水のみを処理

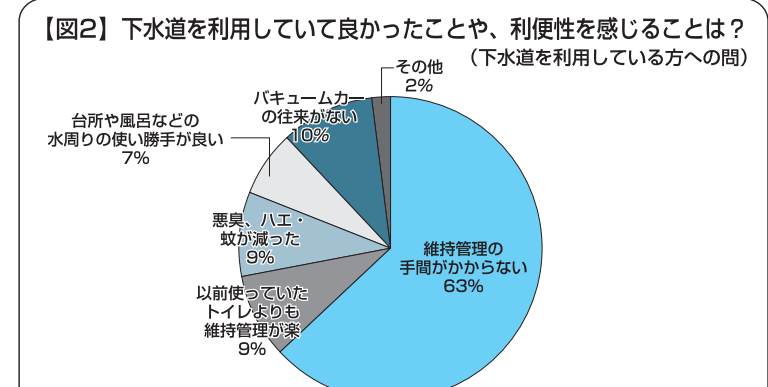
下水道事業に関する市民アンケートを実施しました (平成22年3月実施)

「下水道の満足度は?」

【左図1参照】下水道を使用している方の9割以上 (満足83%・やや満足9%) が満足していることが分かりました。一方で、単独浄化槽を使用している方の36% (やや不満20%・不満16%) が不満を持っていることが分かりました。

「下水道の利便性と整備のあり方」

【左図2参照】下水道を使用している方のうち、6割以上の方が、維持管理に手間がかからないことに利便性を感じていました。【左図3参照】下水道未整備地域に対する、今後の汚水処理整備のあり方については、「維持管理費の安さと一括管理 (39%)」や「公平性 (34%)」の観点から下水道を整備することを重要視



「下水道」期待のメロディ

今後の下水道事業に期待するメニューとしては、「雨水排水施設の整備による浸水被害の防止」と「下水処理水の再利用」を要望する意見が多く、最近多発しているケリラ豪雨の影響や、循環型社会を意識したものでした。また、運営やサービス・支援に期待するメニューとしては、「下水道の役割や必要性、下水道へ接続するための手続きや使用料の支払方法などの分かりやすい情報の提供」を要望する意見が多く、整備事業以外のソフト的対策を整備して、今後の結果を有効に活用して、今後も市民の皆さんが利用しやすい下水道事業を推進していきます。

